

鈴鹿市所蔵 型紙文書

番号	表題	年号	西暦	差出人	宛先	員数	形状	備考
1	(形売組合の規約書の末尾か)	元禄13年辰3月	1701	(欠)	(欠)	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装。卷子には昭和30年10月30日付け「伊勢型紙研究所備品」ラベル、「30古文書1」のラベルを貼付
2	通り切手之事(寺家村半四郎の東国紺屋形売出稼ぎの通行手形)	宝暦4年戌2月	1754	紀州領勢州白子 役所下書	—	1	状	市史掲載(5巻P307)。2・10・11は卷子装、卷子には「31古文書3」のラベルを貼付
3	通り切手之事(寺家村兵蔵の東国紺屋形売出稼ぎの通行手形)	天明2年寅2月	1782	紀州領勢州白子 役所	—	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
4	(当堂重建と御用筋の功績により脇差・麻袴・苗字名乗の許可書)	寛政12年申12月改	1800	観音寺 観瑤(花押)	古川半四郎とのへ	1	状	4・8は卷子装、卷子には「30古文書2」のラベルを貼付
5	(当堂重建と御用筋の功績により脇差・麻袴・苗字名乗の許可書)	寛政12年申12月改	1800	観音寺 観瑤(花押)	小林兵五郎とのへ	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
6	通り切手之事(寺家村兵五郎の西国紺屋形売出稼ぎの通行手形)	文化3年寅霜月	1806	紀州領勢州白子 役所	—	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
7	往来(白子の兵五郎が鹿児島まで行く往来手形)	文政2年卯正月	1819	年寄 久住吉兵衛(印)	所々 御改所	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
8	仲間定(関東行き紺屋形の値崩れにあたり、相互に決まりを守るとの連印)	文政3庚辰歳12月	1820	古川半四郎(印)、小林六郎兵衛(印)、同要蔵(印)、西田平八(印)ほか13名	—	1	状	市史掲載(5巻P319)。4・8は卷子装
9	通り切手之事(寺家村兵五郎の西国紺屋形売出稼ぎの通行手形)	文政5年午3月	1822	紀州領勢州白子 役所	—	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
10	通り切手之事(寺家村半四郎の信濃上野2ヶ国紺屋形売出稼ぎの通行手形)	嘉永5年子2月	1852	紀州領勢州白子 役所(印)	—	1	状	2・10・11は卷子装
11	通り切手之事(寺家村覚平の三河・遠江・駿河・甲斐・伊豆への紺屋形売出稼ぎの通行手形)	嘉永5年子2月	1852	紀州領勢州白子 役所(印)	—	1	状	2・10・11は卷子装
12	一札(形売株を20年期限で伊兵衛へ貸し付けるが、期限後は差し戻すとの証文)	嘉永6年丑正月	1853	和田栄次郎、代判 角次郎	寺家村 兵五郎殿	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
13	明証(布施と遺物の受領書)	安政2卯年9月9日	1855	光雲正院主(印)	小林兵五郎様	1	状	1・3・5～7・9・12・13の8点は卷子装
14	(江戸中屋敷御殿焼失にあたり冥加金60両献納願いを認めるとの達)	2月	—	長沢十左衛門、後藤弥左衛門	白子・寺家 形屋共	1	状	

15	貸渡形売株一札之事(備後・安芸・周防3ヶ国行の形売株を10年間貸すにつき。小仲間惣代 北村次兵衛の奥印あり)	明治7年戌1月	1874	株主 片山助三郎(印)、親類引受人 山中五郎次(印)ほか2名	山中金蔵殿	1	状	15は市史掲載(5巻P347)。14~16は卷子装、卷子には「31古文書4」のラベルを貼付。 <b>見返しハズレかけ、要注意</b>
16	貸渡候形売株之証(15の株貸付の礼金額引き下げにつき)	明治12年卯2月	1879	株主 片山助三郎(印)、親類株取扱人 山中五郎次(印)・山中孫三郎((印)	山中金蔵殿	1	状	
17	通り切手之事(寺家村茂左衛門の尾張・三河・遠江・駿河・甲斐への紺屋形売出稼ぎの通行手形)	嘉永5年子2月	1852	紀州領勢州白子 役所(印)	—	1	状	
18	(寺家の宇兵衛の備後・安芸・周防3ヶ国紺屋形売出稼ぎ鑑札)	文政9年戌5月	1826	紀州 評定所(「鑑」印)	—	1	他	板 縦30,3×横8,3×厚1,2。「32木鑑札4」のラベルあり
19	(寺家の古川半四郎の信濃・上野2ヶ国紺屋形売出稼ぎ鑑札)	文政9年戌5月	1826	紀州 評定所(「鑑」印)	—	1	他	板 縦30,3×横8,3×厚1,2。「31木鑑札2」のラベルあり
20	(寺家の六次郎の近江・越前・若狭・丹波・丹後6ヶ国紺屋形売出稼ぎ鑑札)	文政9年戌5月	1826	紀州 評定所(「鑑」印)	—	1	他	板 縦30,3×横8,3×厚1,2。「33木鑑札7」のラベルあり
21	通り切手之事(寺家の甚九郎の尾張・三河・美濃への紺屋形売出稼ぎの通行手形)	嘉永5年子2月	1852	紀州領勢州白子 役所(印)	—	1	状	
22	(手水手拭の受領書)	丑9月9日	—	秋葉寺 役寮(印)	勢州白子 島村氏	1	状	破損激しい
23	定(紺屋形売道中の賃銭・不正取引禁止などの定)	嘉永5年子2月	1852	白子 御代官所(印)	—	1	状	
24	伊勢国白子山観音寺子安観音境内一覽之図(木版。人力車もいる)	(明治)	—	伊勢人 別府梅莊図、津 林風堂刻	—	1	他	縦34.8×横47 ビニール袋に「鈴鹿市立図書館」のラベルあり
25	(寺家の弥兵衛の尾張・三河・遠江3ヶ国紺屋形売出稼ぎ鑑札)	文政9年戌5月	1826	紀州 評定所(「鑑」印)	—	1	他	板 縦30,3×横8,3×厚1,2。「30木鑑札1」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
26	(寺家の久次郎の近江・越前・若狭・丹波・丹後・但馬・播磨8ヶ国紺屋形売出稼ぎ鑑札)	文政9年戌5月	1826	紀州 評定所(「鑑」印)	—	1	他	板 縦30,3×横8,3×厚1,2。「32木鑑札6」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
27	(中村甚三郎の荷物絵符)	—	—	紀州 御役所(スレて一部読めず)	—	1	他	板 縦27×横5,8×厚1,0。「33木鑑札8」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
28	(中村甚三郎の荷物絵符?裏面に「紀州通り切手」と墨書。書類挟みか?)	—	—	紀州 御役所(スレて一部読めず)	—	1	他	板 縦27×横5,7×厚1,0。「33木鑑札11」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
29	(中村甚三郎の荷物絵符。「紀州御鑑札附荷物」と墨書)	—	—	—	—	1	他	板 縦32,2×横6,7×厚0,2。「31木鑑札3」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
30	「紀州 御鑑札」(書類挟み)	—	—	—	—	1	他	板 縦30,4×8,3×厚0,3。2015年2月、型紙資料館から帰還

31-1	「微塵」木角印	—	—	—	—	1	他	縦1,1×横2,0×高4,3。2015年2月、型紙資料館から帰還
31-2	「極微塵」木角印	—	—	—	—	1	他	縦2,1×横0,9×高5,2。2015年2月、型紙資料館から帰還
31-3	「勢州神戸 問屋」木丸印	—	—	—	—	1	他	径3,0×高5,6。2015年2月、型紙資料館から帰還
32	形見本帳(模様摺り込み。2色摺もあり)	—	—	白子町寺家 都梅元三	—	1	縦	「昭和42 マル文 17」のラベルを貼付。2015年2月、型紙資料館から帰還
33	(山中兵助の紀州藩通切手)	—	—	—	—	1	他	板 縦29,6×横7,4×厚1,0。「32木鑑札5」のラベルあり。2015年2月、型紙資料館から帰還
34	仲間定(当番、仲間入りの手続きと振る舞い献立。『鈴鹿市史 通史編』記載史料)	文化10年癸酉極月	1813	宮崎吉左衛門、寺尾才兵衛、山中六右衛門、服部次太夫、西田平八、市川七郎兵衛、古河半四郎、島村喜兵衛ほか6名	—	1	通	裏打ち済み。2015年11月、山中家1の箱から発見、「A1-29」の番号を付けた封筒に入っていたが、寺尾家資料寄贈時の資料により鈴鹿市蔵型紙文書に編入